

前回の統一地方選挙から2年が経ちました。生活向上や明るい将来の実感はありますか？選挙に合わせてこの会を作った目的は、にぎわいを取り戻し老いも若きも安心して暮らせることです。現状は人口減が止まらず、最盛期に9千人近くが暮らした福栄の平日昼間は少数の人を見るのみ、三本松は幼稚園が閉園小学校も一年半で閉校予定健康目的や犬の散歩をする人が目立ちます。

●市長に望むこと

先の選挙で藤井氏が選ばれた際「市の一番の課題は若者の流出。それは逃げるわけにも避けるわけにもいかない。短期的な成果を求めるものと、長期的なスパンで進めるものを同時にやってこそ効果が出ると思う。3期目はもう少し個性を出し、真っ正面から取り組みたい。」とのことでした。なぜ1期目からそれに取り組まなかったのか不思議ですが、未だに取り組んでいるとは見えません。というのも、最近配布された"東かがわ市くらしの便利帳"冒頭に…「しごとをつくり、安心して働ける環境を創る」、「若者のいつまでも住み続けたい希望をかなえる」、「愛される、安心・安全で暮らしやすい地域をとともに創る」政策を重点的に推進しているところであります。…との弁を振り返るに、具体性が無く議会の審議事項に重点政策が見当たりません。総花的予算配分から"若者と福祉"に切り替え、特に育児と教育に手厚い支援をすることで当市に移入したり留まったりする若い夫婦や若者の増加が望め、派生効果として市の経済に良い影響を与えましょう。

●議員に望むこと

今回の"議会だより"で最も驚いたことは、以下の議案です。

発議第1号：慰安婦問題への対応及び日本を取り巻く外交問題に対する国の姿勢についての意見書

これが可決され国会及び政府に提出したとあります。私は驚きを超え怒りまでもが沸いてきました。我が町や村は人口減、高齢化、それに伴う産業衰退など自治体の存続に関わる課題を抱えています。市長や議員は市の発展の為に知恵を絞っていただきたい。慰安婦問題や外交問題は国の仕事です。まるで"御伽の国の市議会"のように感じてしまいました。誰がこれを提議したか聞きましたが不明とのこと！今後すべての議題の発議者を明らかにして欲しいとお願いしました。

上記とは別に、平成27年6月議会で

発議第1号：安保関連法制の慎重な審議を求める意見書について

賛否が問われ賛成7反対10で否決されています。

地方議会で、それも衰退に悩む人口31,753(外国人定住者を含む)の当市で、国策を審議していることを全ての議員がおかしいと思わないことが、私には大変奇異に感じました。議員の収入の原資は市民である皆さんが払った税金です。天から降ってきた金ではありません。前回の統一選挙直後、事務所の前でよく会う知人が「皆が選んだんじゃけん仕方ない」と言っていたことを思い出します。市長や市議には市民の繁栄の為に具体的な施策を立案実施していただきたい。

●第6回議会報告会

平成29年5月17日の議会報告会に出席しました。資料は"議事次第"と称する単にプログラムと参加者を列記したA4一枚のみで、他に"議会だより55号"でした。参加者からは詳細討議資料を求むとの意見が出されました。今回は「平成29年度予算の報告」が主でしたが、報道されているとおり、合併後の最大予算「ひとの駅さんぼんまつ」の建設費に8億7100万円などが淡々と発表されました。人口減少が止まらない町にまた新たな箱物ですが、事業コンセプトどおり駅前に賑わいが戻ることを見守りたいと思います。

さて、質疑応答での私の質問、市民の平均年収をどの議員も知りませんでした。私の事前の調査でも市のURLにありません。後日、年収ガイドという私設サイトで264万円とありました。さて、なぜ年収を言及したかですが、市長1008万、議員622万です。あまりにも一般市民とは乖離した給与に驚きます。私が子供の頃は村長や村議は名誉職でした。生活に困らない高潔な人がその職に就いていました。実は私は平成26年5月18日の議会報告会で市民の収入を踏まえれば議員報酬が多すぎないかとの意見を述べたところ。若い議員のことを考慮すると減らせないなどの返答でした？衰退の続く本市にはまず市民の負担減の為に、議員定数と議員報酬の削減は必至です。

このピラはコピー・配布自由です。Wordファイルを<http://www.tokyopeaks.com>の"社長のためいき"の"東かがわ市を発展させる会"にアップロードしています。ファイルを電子メールに添付して配布するなど御自由に。ご意見などございましたらkxa03502@nifty.ne.jp 鎌田紳二宛お願いします。